

さび病 (Rust)

Phakopsora ampelopsidis



葉表に発生した様子



葉裏に発生した様子

発生生態

主に葉に発生し、果実には発生しません。病原菌は落葉上で越冬し、翌春、気温が高くなってくると、まず山林に生えているアワブキなど(中間宿主といいます)の樹木に感染し、そこで増えた胞子が6~7月ころになってブドウの葉に感染してきます。多発すると、早期落葉を引き起こします。

防除対策

根本的な対策は、中間宿主であるアワブキなどの樹木を近隣から根絶することですが、現実的には難しいと思われます。

薬剤防除では発生初期の散布が大切です。